

能登半島地震 ボランティア活動

【日 程】

4/20(金) パチンコ7名・アミューズ3名

【活動内容】

被災地住民の方々へのお手伝い

【テ ー マ】

日頃、能登のお客様には大変お世話になっており、今回の地震災害後常々、私たちが出来ることは無いか、考えていました。私たちのお店が、このような時期にも関わらず、日々営業が出来ているのも、地域の皆様の支援があればこそと考え、今、私たちに出来る事は、クアトロブームとして、又、能登に住む1人として、これまでお世話になった地元の皆様へ「感謝」「思いやり」の気持ちを持ち、何かお役に立てる事はないかと思い、震災地ボランティア活動をする事にしました。

今回、現地の作業内容の関係で、参加したくても出来ないスタッフ（女性）は、「感謝」「思いやり」の気持ちを参加者へ託し、自分たちは、飲み物の準備等、参加者のために「縁の下の力」となって、支えることでスタッフ全員が一丸となり、社会貢献に取り組めます。

【4/20(金)の活動報告】

参加者全員が一様に、あまりに悲惨な状況に心を打たれ、参加できたことを誇りに思い、「機会があれば再度参加したい」との声が多く聞かれました。

現地に近づくにつれ、屋根にシートが掛かった光景が目立ち始め、復旧の進行の具合を実感しながら安どの気持ちで現地入りして、中心部の状況とあまりにもギャップの違いを目のあたりにし、言葉を失うほどの状況でした。私たちが活動した地域は更に悲惨で歩きでしか行けない場所で、重機すら入れず、全てが手作業で、瓦礫の取り除き作業を行いました。当日のボランティア参加人数も、既に1ヶ月近く経過しているにも関わらず、未だに130名位の方たちが、要請場所に出向き、もくもくと作業をこなしています。たぶんにもれず、御老人が殆どの地域だけに、ボランティアに頼るしかない現状を痛感し、更に悲惨さを感じて帰ってきました。